

埼玉県鴻巣市立吹上北中学校



コ ス モ ス

秋 桜



学校だより第 11 号

学校教育目標 夢に向かって学び鍛える心豊かな生徒 ー夢・学・恕ー 令和2年1月8日発行
〒369-0112 鴻巣市鎌塚550 tel : 048-548-0081 fax : 048-437-1471
ホームページ <http://fukiagekita-j.konosu.de.jp/> E-mail : fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp



五輪イヤー幕開け

校長 関根 茂夫

令和2年新春、新しい1年が始まりました。明けましておめでとうございます。

令和に入って初めての正月、そして、いよいよ東京五輪・パラリンピックの年を迎えました。

今週月曜日(6日)に7月24日の開幕まで200日を迎え、日本の超一流アスリートたちの活躍が日々楽しみになってくることでしょう。

その中でも私が「日本のエース」として期待しているのが、埼玉県毛呂山町出身の競泳男子の瀬戸 大也選手です。東京五輪の前哨戦として注目された昨年の世界選手権200、400^{メートル}個人メドレーで金メダルに輝き、早々に五輪代表に内定を手に入れました。今日からちょうど200日後の7月26日には、最も瀬戸選手が得意とする400^{メートル}個人メドレーの決勝が行われます。

瀬戸大也選手への一問一答(読売新聞のインタビューから)

Q: 東京五輪で日本中の期待を背負うことについて。

ー「プレッシャーは感じない。期待されることは嫌いでないし、応援もすごくうれしい。得意種目の400^{メートル}個人メドレーが競泳の一つ目の決勝なので、ここでの金メダルは日本全体、チームとしても必要と思う。」

Q: 4年前からの成長をどう感じるか?

ー「自分にフォーカスできているから、周りはいあまり気にならない。自分が金を取れば何でもいい、という自己中心的な考えになったのが今の強み。周りのことを考える暇があったら、自分のやるべきことを見つけてやる」

Q: リオ五輪金メダルで同学年の萩野公介選手の存在は?

ー「もちろんライバルとして意識するし、一緒にオリンピックに出たい。でも、4年前に比べたら、今は公介のことは正直あまり気にしなくなった」

Q: 五輪の舞台とは?

ー「世界選手権は3大会で王者になったが、オリンピックでは勝っていない。そこはコンプレックスではある。リオの時は勢いで金を取ろうと思った。自分の力以上を出して取ろうというイメージだったけど、やっぱり取れなかった。今考えれば甘かった」

Q: 東京五輪はどう挑む?

ー「26歳は、体力的にもピークだと思っている。母国開催ということも、自分のパワーを引き出してくれる。練習中にも楽しみが沸き起こり鳥肌が立ってくる。400^{メートル}個人メドレー決勝では4分4秒台を出したいし、金を取るなら4分5秒台は絶対に必要だと思う」

Q: 技術面の改善点は?

ー「技術は、ほぼ完成して、もういじるところはない。あとは自分の体の中を変えるだけ。中と気持ちを変えるという作業になる」

Q: 家族のためにも、という気持ちはあるか?

ー「そういうふう注目されて、見られることを意識したこともあるけれど、まずは自分のために頑張る。家族のためというのは、自分はプロフェッショナルじゃないと思う。本物のプロだと思ってもらいたいし、そのためには結果が全てだと思う。自分の夢を達成した上で、それを家族にも喜んでもらえたらうれしい」

「先陣を切って勝負しに行く。金メダルを取って日本の全種目のチームの流れを作る」と頼もしい決意を語ってくれています。

同種目で最大のライバル萩野 公介 選手らに敗れ、銅メダルに終わったリオデジャネイロ五輪から約3年半。

「今は自分のことだけに夢中。周りの選手は気にならない」と瀬戸選手は技術や体力とともに心境の変化を挙げています。それも積み重ねてきた練習で「自信」が生まれ、世界選手権の2冠でそれが「確信」に変わったのだと言います。

もちろん、この3年半がずっと順調だったわけではありません。

リオ五輪翌年の2017年世界選手権では再び銅メダル止まり、18年日本選手権では3種目でアジア大会などの代表入りを決めたいけれど、いずれも国内選手に敗れ2位でした。

すでに当時、「日本代表の常連」「金メダル候補」として扱われていた瀬戸選手は同年夏、東京で開催されたパンパシフィック選手権のポスターを見てある違和感に気付いたと言います。そのポスターでは、当然のように瀬戸選手は居並ぶ競泳選手の中央に位置し、中心選手として扱われていたのです。

「国内でも負けているのに、そういう立ち位置に満足している自分がいた。違うぞ、と。自分の目標はオリンピックでテッペン金メダルを取ることだ。」

この時を機に気持ちのスイッチが切り替わった瀬戸選手。そして東京五輪で目標の金メダルを取るために自分自身に課したキーワードは「淡々と」という行動でした。

練習へ取り組む姿勢から見直し、自宅でも念入りに体のケアをするようになり、日々の食事のメニューも食べたい物から食べなきゃいけない物に変わり、大会の記録に一喜一憂することなく東京五輪までのあるべき過ごし方を徹底しました。

「淡々と、が一番苦手なんです」と苦笑いしながらも「やっと本物のアスリートに近づいてきたかな」と自身の成長を感じていると言います。

今では、集大成として位置付ける東京五輪は「楽しみでしかない」と言います。

「自分がやるべきことをできたなら、東京五輪の金メダルは間違いなく、絶対に取れる」

ライバルは他の選手ではなく、自分自身であることに気づいた瀬戸選手の視界には一点の曇りもない。

今日から198日後の7月26日。表彰台の一番高いところに瀬戸選手が日の丸を掲げてくれる日が今から楽しみです。



1月の行事予定



8	水	3学期始業式 書初め選手競書会 避難訓練	20	月	
9	木	第3回南部校長会テスト 給食開始	21	火	
10	金	第1回学校評価懇話会 思いやりアンケート実施	22	水	学年朝会 私立高校受験集中日 3年生のみ4時間授業
11	土		23	木	
12	日	鴻巣市成人式（クレアこうのす）	24	金	第3回英語検定
13	月	成人の日	25	土	
14	火		26	日	
15	水	生徒朝会 専門委員会 部活あり	27	月	1年生放課後部活動なし 火曜日課
16	木	研究委嘱授業研究会 部活なし 月曜日課⑤研究授業	28	火	スキー林間学校1日目（1年生） 三者面談（3年生） 特別日課
17	金	私立受験指導⑥（3年生） 第3回漢字検定	29	水	スキー林間学校2日目（1年生） 東京浅草方面校外学習（2年生） 三者面談（3年生） 特別日課
18	土	第4回PTA運営委員会（10時～） 観望会（19時～）	30	木	スキー林間学校3日目（1年生） 県立特別支援出願 三者面談（3年生） 特別日課
19	日	観望会の雨天判定は、当日本校 ホームページに掲載いたします。	31	金	新入生保護者説明会 水曜日課①②③⑤⑥

